



2022年11月09日

DF会員の皆様

健康医療研究会

代表世話人 江村泰一

健康医療研究会では、各分野の専門家をお願いをして、これまで28回のセミナーを開催し会員の皆様のご好評をいただいております。

さて、DF会員の平均年齢も70歳を超え、周囲に介護を必要とする方がおられる方、また未だその段階に至っていない方でも遠くない将来にそうした事態を迎える不安を抱えている方も少なくないかと思えます。

健康医療研究会では、これまでもわれわれの最大の関心事である「認知症」を過去数回にわたって取り上げ、その病態や治療の最新動向等について、最新の知見を専門家の先生方をお呼びして勉強して参りました。

その中で明らかになってきたことの一つとして、認知症だけでなく、介護を必要とする方に日頃接している方の知識・技法が、介護される側に大きな影響を与え、極めて重要であるということがあります。

そこで今回は、こうした介護技法で、フランスで開発された「ユマニチュード」という技法を日本において普及しようと努められておられる本田美和子先生にお願いして、「優しさを伝える技術・ユマニチュード」と題して、この技法の考え方、実行方法等について

解説頂きます。

上記のようにこうしたことを必要とされている方、今後に不安を抱える方等には大変参考になるかと思えます。皆さん奮ってご参加下さい。

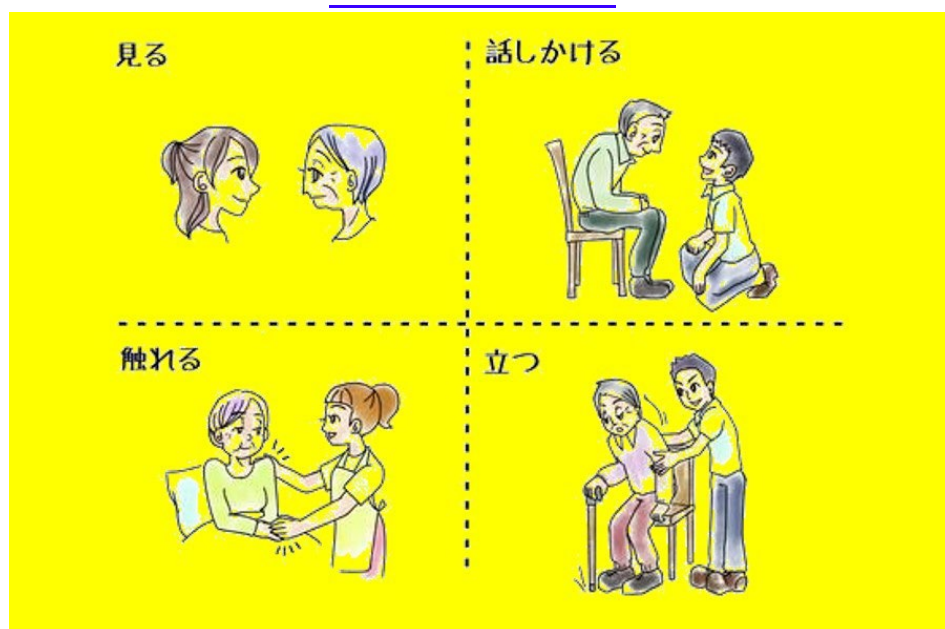


本田美和子先生1993年筑波大医学専門学群卒。国立東京第二病院（現・国立病院機構東京医療センター）内科，米トマス・ジェファソン大内科，米コーネル大老年医学科，国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター外来医長などを経て，2011年より現職。ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部代表として，日本でのユマニチュードの実践・普及・教育・研究活動を行っている。

### ユマニチュードと

は、「人間らしさを取り戻す」という意味をもつフランス語の造語で、認知力の向上を目指すケア・コミュニケーション技法です。主に認知能力が低下した高齢者や認知症患者に対して行います。「見る」「話す」「触れる」の3つのケア方法に「立つ」というケア方法を加えるのがユマニチュードの特徴です。これら4つは「ケアの4つの柱」と呼ばれています。さらに、ユマニチュードでは、一連のケアを行う手順として5つの段階が必要だとされており、これを「ケアの5つのステップ」と言います。

### ケアの4つの柱



## ケアの5つのステップ



### 開催要領

開催日時： 12月2日（金）15時～17時

方 式： ZOOM（開催日前日夕刻URL送付）

内 容： 『優しさを伝える技術・ユマニチュード』

講 師： 本田 美和子先生

独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 総合内科医長

ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部代表

資 料： 今回配布資料はありません。

また録画の視聴もできませんのでご承知おきください。

参加費用： 2,000円（パートナーのご参加は無料）

支払い 下記健康医療研究会の口座へお振込みください。

銀行名 三菱 UFJ 銀行

店 番 084

支 店 青山通支店

口座番号 普通預金 0352949

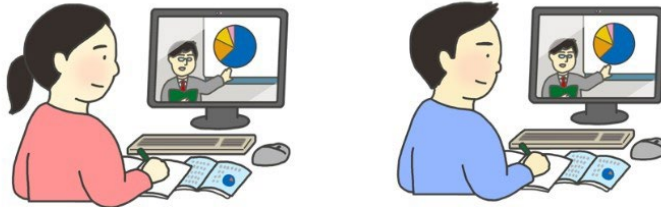
名義 一般社団法人ディレクトフォース健康医療研究会

ご入金は、セミナーの前々日の11月30日（水）までをお願いいたします

## 第29回セミナー申込みフォーム

申込み締切 2022年11月30日（水）12:00

# Webinar



## 〈参考〉過去の実施セミナー

1. 『老いることの意味』
2. 『認知症の基礎的理解』
3. 『尊厳死と安楽死』
4. 『新しいがん治療』
5. 『腰痛の基礎知識—原因・治療・予防—』
6. 『その肺炎 治す？治さない』
7. 『健康寿命とアミノ酸』
8. 『糖尿病と生活習慣あれこれ』
9. 『自律神経のしくみとその障害による疾患, 対処法』
10. 『笑いの健康学 ~笑って脳を活性化~』
11. 『認知症を受け入れよう!』
12. 『口からみた長生きの秘訣』
13. 『人生100年時代』を生き伸びるための運動器と運動の重要性』
14. 『百寿者の秘密』
15. 『医者の特リセツ—高血圧と脂質異常を中心に』
16. 『高齢者に多い泌尿器系疾患とその対策』
17. 『フレイル・サルコペニアと運動』
18. 『人生100年時代を生き抜くために—救急医療の正しいかかわり方を考えましょう』
19. 『マインドフルネス—自宅でできる瞑想と座禅』
20. 『今ならできる『エンディングノート作成』と『介護施設選び』』
21. 『お口の健康と全身疾患』
22. 『健康長寿ガイドライン12か条策定の背景』
23. 『臨床医から見た新型コロナウイルス感染症と医療現場の現状』
24. 『高齢者うつを治す』
25. 『アルツハイマー病の診断、治療の最前線』
26. 『誤解だらけの腎臓病と透析治療』
27. 『薬食同源—食による予防医学で健康維持を担う』
28. 『自律神経を知って不調を治す』